

令和元年度(2019年度)

管理事業名	介護保険サービス整備等事業				総合計画の体系	大綱 3 政策 1 施策 3	福祉・健康 高齢者の暮らしを支えるまちづくり 介護保険制度の安定的運営
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 3	民生費	(項) 1	社会福祉費	(目) 3	老人福祉費
部局名	福祉部	予算執行所属	高齢福祉室				
予算大事業名 介護保険サービス整備等事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)民生費(項)社会福祉費(目)老人福祉施設整備費積立金 介護保険サービス整備等事業 (款)衛生費(項)保健衛生費(目)介護老人保健施設費 介護保険サービス整備等事業						
<b>事業の目的と概要</b> <b>【目的】</b> 質の高い介護サービスを安定的に供給できるよう、持続可能な介護保険制度の運営に努めること。 <b>【概要】</b> 高齢者保健福祉施策や介護保険事業の目標などを定めた高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を3年ごとに策定します。 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の目標達成に向け、社会福祉法人等に対し整備、改修に係る費用の一部助成を行います。 指定管理制度(利用料金制)を導入している介護保険施設の大規模な修繕と工事を市が実施します。 資格取得に取り組む介護サービス事業者に対する支援や合同面接会の実施など、介護人材の確保に取組みます。							

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	成果指標の定義
受けている介護サービスに満足している利用者の割合	%	—	—	79.3	3年ごとに実施する「吹田市高齢者等の生活と健康に関する実態調査」における、訪問介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護・療養介護の満足度の平均値
地域密着型サービスの整備数	箇所	2/16	4/13	7/16	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画における累積整備数(整備数/目標整備数、平成29年度は6期、平成30年度以降は7期)
成果の説明	3年ごとに実施する「吹田市高齢者等の生活と健康に関する実態調査」における令和元年度調査の結果、介護サービス利用者の満足度は79.3%で、平成28年度調査結果の67.7%と比べ10ポイント以上満足度の向上が図られています。 地域密着型サービスの整備数については、令和元年度に3か所の選定を行い4か所から7か所に増加しましたが、一方で3か所の事業所廃止により目標整備数が13か所から16か所に増加し、残り整備数は平成30年度に引き続き9か所となっています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

勘定科目	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	1,609	1,609
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	14,868	14,868
府支出金(経常費用充当)	-	-	41,998	41,998
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	53	53
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	2	2
その他	-	-	308	308
経常収入 小計(a)	-	-	58,838	58,838
給与関係費	-	-	35,017	35,017
物件費	-	-	18,685	18,685
維持補修費	-	-	7,341	7,341
社会保障扶助費	-	-	330	330
負担金・補助金・交付金等	-	-	58,417	58,417
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	93,198	93,198
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	-	-	2,997	2,997
退職手当引当金繰入額	-	-	△81,710	△81,710
支払利息	-	-	7,568	7,568
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	-	-	141,844	141,844
経常収支差額(a)-(b)=(c)	-	-	△83,006	△83,006
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	3,132	3,132
特別収入 小計(d)	-	-	3,132	3,132
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	3,132	3,132
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	-	-	△79,875	△79,875
一般財源充当額	-	-	159,731	159,731
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	-	-	79,856	79,856

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
負担金・補助金・交付金等	地域密着型サービスに係る施設整備補助金 41,151千円 認知症高齢者グループホーム等防災改修等補助金 14,868千円
減価償却費	吹田市介護老人保健施設等の介護施設における減価償却費

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	-	-	58,838	58,838
行政サービス活動支出	-	-	141,015	141,015
行政サービス活動収支差額	-	-	△82,177	△82,177
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	2,482	2,482
投資活動収支差額	-	-	△2,482	△2,482
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	75,071	75,071
財務活動収支差額	-	-	△75,071	△75,071
収支差額 合計	-	-	△159,731	△159,731
一般財源充当額	-	-	159,731	159,731
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(投資活動支出)亥の子谷デザイナーサービスセンターの備品購入費2,480千円ほか (財務活動支出)吹田市介護老人保健施設に係る地方債返済
----------	-------------------------------------------------------------------------

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
65歳以上高齢者1人あたりのコスト	平成29年度	-	円	令和2年3月31日現在の吹田市65歳以上人口で算出し、令和元年度は1人あたり、1,591円のコストがかかっています。
	平成30年度	-	円	
	令和元年度	89,136人	1,591円	
	平成29年度	-	円	
	平成30年度	-	円	
	令和元年度	-	円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

貸借対照表				貸借対照表			
勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	-	40,602	40,602
未収金	-	-	-	地方債	-	37,605	37,605
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	-	2,997	2,997
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
事業用資産	-	-	-	固定負債	-	63,641	63,641
有形固定資産	-	6,776,517	6,776,517	地方債	-	35,567	35,567
土地	-	4,619,824	4,619,824	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	-	2,156,692	2,156,692	退職手当引当金	-	28,074	28,074
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	-	7,200	7,200	負債の部合計	-	104,243	104,243
固定資産	-	-	-	純資産	-	7,038,802	7,038,802
有形固定資産	-	-	-	重要物品	-	25,546	25,546
土地	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	投資その他の資産	-	333,782	333,782
建設仮勘定	-	-	-	出資金	-	100,000	100,000
重要物品	-	25,546	25,546	長期貸付金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	基金	-	233,782	233,782
投資その他の資産	-	333,782	333,782	徴収不能引当金	-	-	-
出資金	-	100,000	100,000	その他債権	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	資産の部合計	-	7,143,045	7,143,045
基金	-	233,782	233,782				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
負債及び純資産の部合計	-	7,143,045	7,143,045				

Ⅲ 財務構造分析

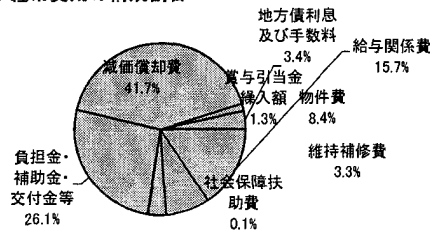
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
	4.51 人	人	231.5 日	25 人	-43,695
給与関係費等	△ 45,880 千円	千円	1,823 千円	361 千円	
内、時間外勤務手当	638 千円				

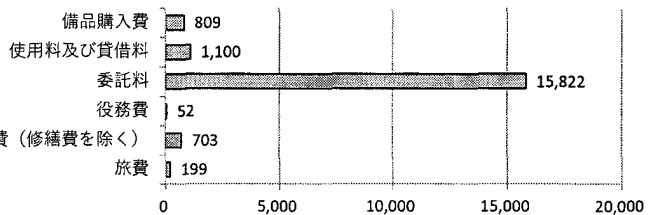
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市介護老人保健施設 ほか
取得年月日	平成4年6月
建物・工作物の取得価額	4,376,239 千円
建物・工作物の減価償却累計額	2,219,547 千円
利用料金収入	1,609 千円

▽分析指標

分析指標	(単位:%)			差 B-A
	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	
施設維持補修費比率	-	-	0.2	0.2
施設老朽化比率	-	-	50.7	50.7
受益者負担比率	-	-	1.1	1.1
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	-	-	73.1	73.1
経常費用対公共資産比率	-	-	3.2	3.2

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

昨年度、総合計画に沿った管理事業の見直しを行い、介護保険サービス整備等事業として事業を再編したため、過年度のデータが表示されていません。減価償却により資産(建物)が減少しています。建物の老朽化比率は50.7%となっており、市保有施設全体の老朽化比率(57.0%)を6.3ポイント下回っています。経常費用約1.4億円の41.7%を減価償却費が、26.1%を負担金・補助金・交付金等が占めています。負担金・補助金・交付金等の経費は、国庫支出金、府支出金を活用し社会福祉法人等に対し介護保険施設等の整備、改修にかかる費用を補助したものです。物件費のうち、委託料が最も多くなっており、吹田市介護老人保健施設の連絡橋撤去に係る実施設計委託料等が5,500千円、建築基準法に基づく法定点検委託料が3,335千円となっております。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

事業の成果指標である介護サービスに満足している利用者の割合については、79.3%と第4次総合計画における目標値の70%を達成しています。地域密着型サービスの整備については、府支出金を財源とする補助制度を活用して整備を促進していますが、介護人材不足などの理由で目標整備数に達していません。第7期吹田健やか年輪プラン(吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画)で重点取組と定めた介護人材確保策については、数値目標による達成状況の把握が難しいですが、介護保険制度の持続可能な運営のための重要な課題と認識しており、介護人材の質の向上と確保・定着の促進に継続して取り組めます。また、介護保険施設等については、今後も既存施設の老朽化に伴う維持補修費の増加が見込まれます。厳しい財政状況の中、財源確保が困難となるものと想定され、効率的・効果的に維持補修を行っていくことが必要と考えます。吹田市介護老人保健施設は平成4年(1992年)に建設後、28年が経過し、老朽化が進んでいます。大規模な改修工事のみならず、施設の附帯設備、また備品に関しても経年劣化が進んでおり、計画的な修繕及び備品更新計画を立て、予算の確保を行う必要があります。デイサービスセンターやグループホーム等の市保有の施設全体も老朽化が進み、限りある財政状況の中では、維持補修等に関する経費を平準化し、計画的な予算執行を行う必要があります。